暫定版

Web Fairy Paradise

第２３号

今月のフェアリー詰将棋

- 第22回WFPフェアリー作品展
- 推理将棋33回出題
- OFM 第 158 回出題
- Fairy of the Forest#23 出題
- １手詰？コンクール

結果発表

- 第21回WFPフェアリー作品展
- OFM 第 157 回出題
- 推理将棋第32回出題
-

読み物

- お便りより（森作に余詰発見　雲海）
- 妖精賞の系譜（１０）
-
-

2010/5

はじめに

あらかじめ違う原稿を書いていたのだがフェアリー界（&私）にとってちょっと嬉しい出来事があったので急遽差し替えします。

下の図は昨年の12月に第31回神無一族の氾濫５番にて発表された私の作品です。

強欲ばか詰　47手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			桂	桂					四
	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	五
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	六
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	七
王	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	八
	桂								九

持駒 飛

正解者が、市村さん、増田さんのたった２名の難解作。

この作品の解図に関する話が、週刊文春５月27日号の先崎学「先ちゃんの浮いたり沈んだり」に掲載されたのです。日ごろはこのエッセイを読むためにだけに本屋へ行って立ち読みするのですがさすがに今回は流石に買いました。

全部転載したいくらいなのですが、さすがにそれはまずいので、皆さん是非、買って読んで見てください。全１ページの２／３位この作品を解く悪戦苦闘ぶりが書かれています。それにしても将棋のプロがこの作品に半日も全力で考えていたとは作者冥利につきますねね。解けたと思ったが答えを見たら間違っていたと言うのも思わず笑っちゃいます。そりゃまあ駒井さんもギブアップした作品ですからねえ。

最後には、昨年の年間最優秀作品に選ばれた松田圭一、安江久男作の推理将棋も紹介されていてフェアリー界にとってはいい宣伝になりました。よかったよかった。

あれ？そう言えば私の名前はどこにも…（泣）

【 募　集 】

作品

フェアリー作品、 PG 、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことでも研究物でも４コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト１０、自己紹介、何でも OK です。

感想

第 22 号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

＊ご協力感謝します

妖精都市

http://www.geocities.jp/cavesfairy/

詰将棋メモ

http://toybox.tea-nifty.com/

詰将棋おもちゃ箱

http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/

Onsite Fairy Mate

http://www.abz.jp/~k7ro/

K.Komine's Home Page

http://19900504.web.fc2.com/index.html

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

http://www.first-moon.com/

＊表紙のイラストを使用させて頂いております。

第 22 回 WFP 作品展　担当　紅月花煉

[作品投稿要項]
1) 作品投稿は随時受け付けています
2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です(安南詰 etc)
3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

[解答要項]
解答締切：平成21年 6 月15日
本作品展は、正式発表とし TOP Ⅸの対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい
作品投稿及び解答は
webfairyparadise_you@yahoo.co.jp
にお願いします
余詰・近況報告は
http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/
で行っています。確認の上、解答下さい

ルール説明

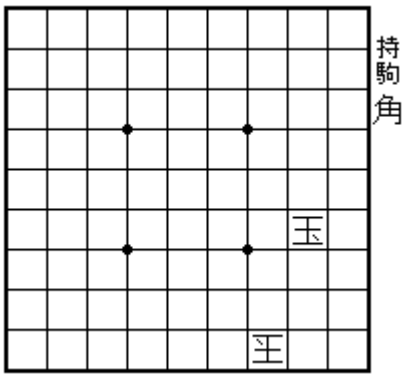
【協力詰】
先後協力して最短手数で受方玉を詰ます
【協力自玉詰】
先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます
【ステイルメイト】
王手は掛かっていないが、合法手のない状態
【最悪詰】
攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。千日手は許容するものとする
【禁欲】
攻方は駒を取らない王手があれば、その手を選択しなければならない。受方は駒を取らない王手回避手があれば、その手を選択しなければならない
【対面】
敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる
【アンチキルケ】
1. 駒取りを行った場合、駒取りをした駒は最も近い初形位置に戻る
2. 5 筋の金銀桂香は取った側が戻る位置を選択できるが、片方にのみ戻れる場合はそちらに強制的に戻る
3. 成駒は成ったまま戻る
4. 初形位置に戻れない駒は戻らない
5. 駒取り発生時、駒が戻るまでを一手とする
6. 詰みの概念はフェアリーに準ずる
【Messigny 】
1 盤上に置かれている双方の同種の駒 (玉を含む。成駒は別種の駒として区別する) は 1 手でその位置を交換することができる
2. 交換する時に駒を裏返すことは出来ない
3. 行き所のない駒や、二歩が発生するような交換は禁手
4. x と y の位置にある駒を交換する着手を y / x で表す

【前置き】

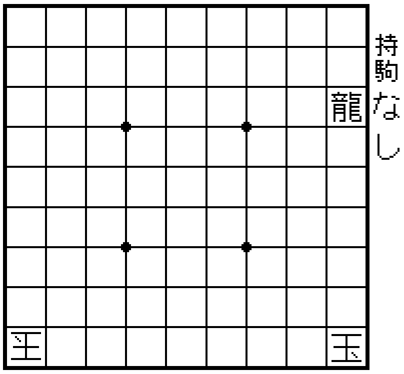
第ニ番に関してですが、一応２解ありますがこのルールの問題提起的な物になっています。解答は１解で問題ないです
少し事故がありまして出題稿・結果稿が逝きました。作り直しますので遅れてます。きちんとバックアップは取っておけという事でしょう
本当は推理将棋大作を出題予定でしたが前回の余詰の事もあり自重で。もう少し検討したいと思います
今回は色んなルールがありますので楽しめると思います。凄く難解な作品はないかと想像されます（多分

【妖精】

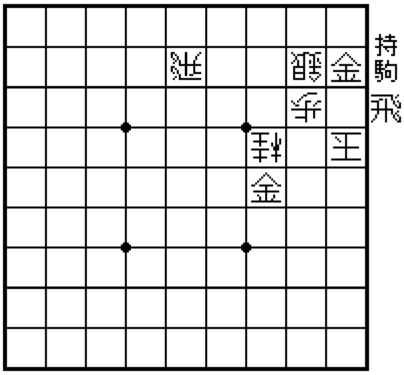
【第一番】　神無太郎氏作
Messigny 協力自玉詰 8 手



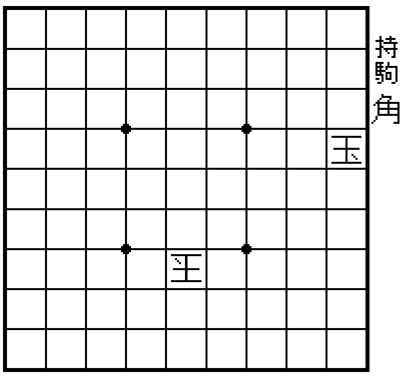
【第二番】　神無太郎氏作
Messigny 協力自玉詰10手



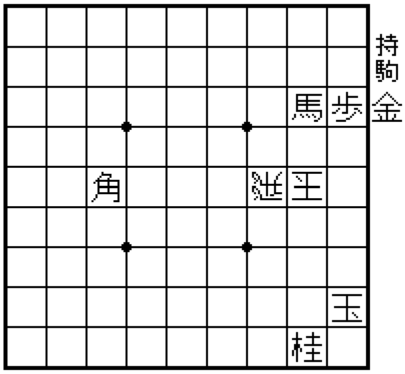
【第三番】　シン氏作
アンチキルケ協力詰６手



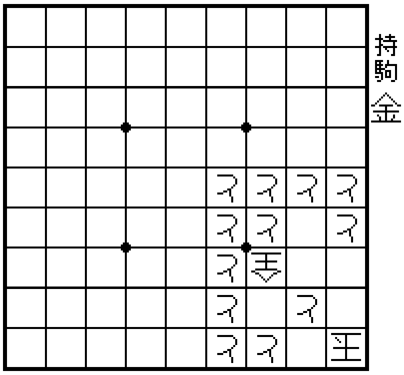
【第四番】　雲海氏作
対面協力自玉ステイルメイト８手



【第五番】　真Ｔ氏作
最悪詰30手



【第六番】　たくぼん氏作
禁欲協力詰31手



b)　持駒金　→金歩

お便りより

こんにちは、雲海です。
ＷＦＰへの読み物の投稿をお送りします。といっても悪いお知らせですが。

最近は森茂氏の作品を鑑賞をしているのですが、気になったのがWFP第12号でも紹介されていた「ばか自殺ステイルメイト　80手」の煙詰が未検討ということでした。
73王が16へ移動する、というスケールが非常に大きい傑作ですが、虫が良すぎる（傑作は大抵そうですが）と感じたため本当に成立しているのか調べてみました。

すると、なんと以下の手順が成立していました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				と		銀	王	銀	一
	歩	歩	歩			香			二
歩		王			香	香	角		三
		香	と			と	飛	と	四
		と			歩	桂	歩	歩	五
と	と	と	と		角	桂		桂	六
				歩		歩		飛	七
銀				金	金	金	金		八
	銀						桂		九

持駒 なし

12角生　11 玉　21 飛生　12 玉　24 桂左　21 玉　22銀生　同玉　12 桂成　同玉　13 と　同玉　23 桂生　35 角　24 と　同角　14 歩　23 玉　13 歩成　同角　24歩　33 玉　23 歩成　同玉　27 飛　32 玉　24桂　同角　42 香成　同玉　53 と　51 玉　61 歩成　同玉　71 歩成　同玉　64 王　73 飛　62 と　82玉　72 と　同飛　65 王　46 角　73 香成　同玉　84と　同玉　95 と直　93 玉　94 と　同玉　95 と　同玉　86 と　同玉　87 銀　同玉　78 銀　同玉　68金　同玉　58 金　同玉　48 金　同玉　38 金　57玉　47 金　同玉　36 歩　同玉　26 飛　45 玉　37桂　同角生　46 飛　同角生　55 と　同角　まで　80 手（非限定多数あり）

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		飛							二
									三
									四
			王	角	王				五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

角と飛を中合で発生させ、それらの利きでステイルメイトさせる手順で、巧妙な手順が至る所にあり、指摘が無かったのもうなずけます。
（誰も検討しなかっただけかもしれませんが）
さて、問題はこの余詰解を消して修正できるかどうかですが・・・うーん、とりあえず62歩→71と、96と→65歩、98銀→96銀（89銀がぽつんと残るのが嫌ならついでに89銀→69銀）でどうでしょう？
作意通り進めて51手目を57金右とし、以下65玉、76と、同玉、87銀以下作意に戻るという手順です。
ただ検討はしていないですが。。。どなたか他に良案があれば教えてください。

修正案
　ばか自殺ステイルメイト　80手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		と		と		銀	王	銀	一
	歩	歩				香			二
歩		王			香	香	角		三
		香	と			と	飛	と	四
		と	歩		歩	桂	歩	歩	五
銀	と	と	と		角	桂		桂	六
				歩		歩		飛	七
				金	金	金	金		八
			銀				桂		九

持駒 なし

Fairy of the Forest#23 出題

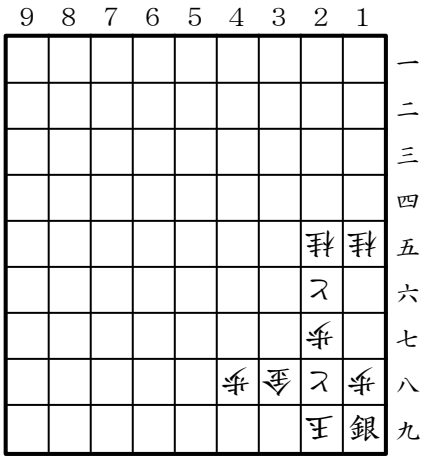
■　2010 年 02 月 18 日：課題発表：握り詰＝玉角金銀桂４歩５（協力詰）
■　2010 年 05 月 15 日：投稿締切
■　2010 年 05 月 18 日：出題
□　2010 年 06 月 15 日：解答締切
□　2010 年 06 月 18 日：結果発表

■　課題発表
雲海ーところで次の課題はもしかして握り詰でしょうか？　協力詰で握り詰はかなりハードルが高い気がします。
次は出題できる自信が無いです・・・。受方持駒制限でもやりますか・・・。
　そのとおり、握り詰です。使用駒は「玉角金銀桂４歩５」。成駒可です。双玉については、いちおう可としておきます。
難課題ゆえ投稿が危ぶまれますが、何とぞよろしくお願いします。

■　出題
　危惧したとおり、当初予定していた締切日（4/15）の時点では投稿はわずかに２作。急遽、締切を１月延ばしたものの、作品が増えるかどうかについては半信半疑でした。
　しかし、その心配は杞憂に終わりました。久しぶりの神無三郎氏の登場（しかも複数作）もあって、何とか６作集まりました。
三郎氏を初め、難課題に挑戦いただいた作者諸氏に、敬意と謝意を表します。
　さて、今回は課題が課題だけに、完成度の面では多くを望めないかも知れません。しかし、握り詰の条件を満たすために諸氏がどんなテクニックを駆使されているかも見ていただきたいと思います。
　締切は、当初の予定どおり６月 15 日（火）とします。投稿締切が延びた分、解答期間が短くなりますが、ご了承ください。

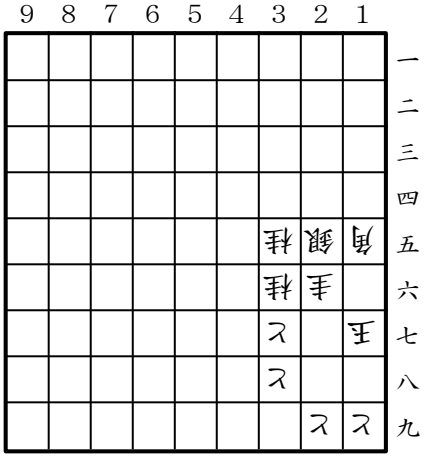
　（解答先）
→酒井博久（ sakai8kyuu@hotmail.com ）

■ 23-01　雲海　協力詰 13 手



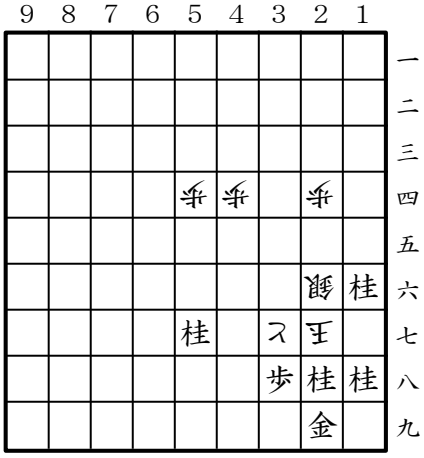
持駒 角桂2

■ 23-02　たくぼん　協力詰 15 手



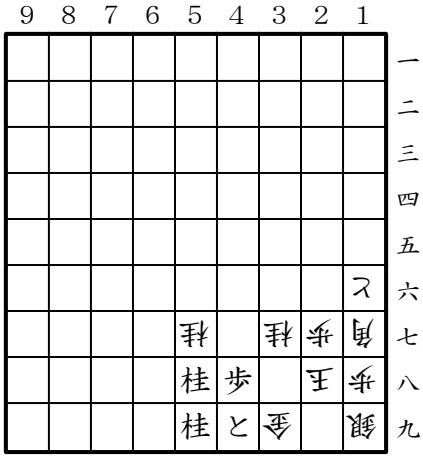
持駒 金桂歩

■ 23-03　神無七郎　協力詰 21 手



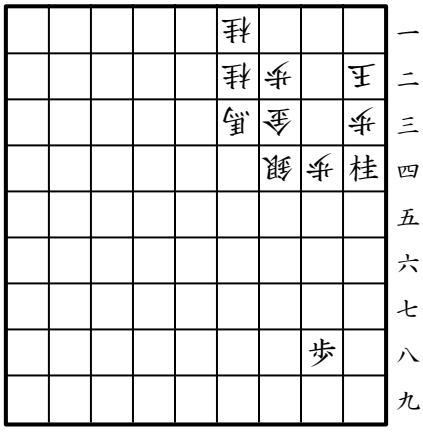
持駒 角

■ 23-04　たくぼん　協力詰 23 手



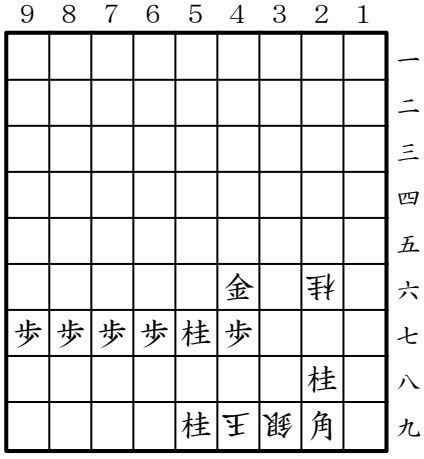
持駒 なし

■ 23-05　神無三郎　協力詰 37 手



持駒 桂歩

■ 23-06　神無三郎　協力詰 41 手

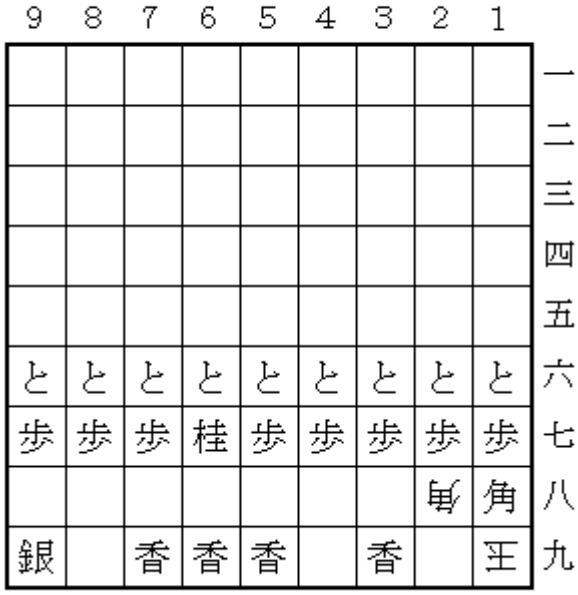


持駒 なし

Onsite Fairy Mate　第 159 回出題

開催日　　：2010 年　5 月 16 日（日）
解答締切　：2010 年　6 月　5 日（土）
解答発表　：2010 年　6 月　6 日（日）

神無七郎 作
Messigny協力詰 73手



持駒 歩

【ルール説明】

協力詰（＝ばか詰）
先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

Messigny
盤上に置かれている双方の同種の駒（玉を含む。成駒は別種の駒として区別する）は 1 手でその位置を交換することができる。
交換する時に駒を裏返すことは出来ない。

本作の解答を管理人宛（janacek789@ybb.ne.jp）に E-mail でお送り下さい。

解答締切： 2010 年 6 月 5 日（土）
解答発表： 2010 年 6 月 6 日（日）

【コメント】

今月の初めに「コンピュータ将棋選手権」が行われました。優勝は本命の「激指」でしたが、300台以上のPCを稼動させる超並列マシンや、ひたすら待機戦術で時間切れ勝ちを狙うソフトなど、今年もいろいろな出場者がいて面白かったです。コンピュータ将棋プログラムの話は第153回出題でもしましたが、今回はこのとき触れた「文殊」の採用した「合議制」についてもう少し考えてみましょう。

「文殊」は当初、単純多数決で指し手を決めていたのですが、なぜそれで元のプログラムより強くなるのでしょう？一応の根拠は「文殊」の作者のグループによる以下の論文に示されています。

思考ゲームによる合議アルゴリズム
　～単純多数決の有効性について～
http://homepage1.nifty.com/ta_ito/CSA/CSA-2009-07-gougi.pdf

例えば0.6の確率で正解を出す人が3人集まって多数決を取ったとき、その結論が正解となる確率は約0.65。つまり単独で決めるより良い答えとなるわけです。「三人寄れば文殊の知恵」の格言通りですが、この言葉は単純でない合議（皆で持ち寄った答えのうち最良のものを選ぶような方法）を想定していると思われます。単純な多数決でさえ単独より良い答えを出せるというのは、ある意味驚きですね。

でも、ちょっと待ってください。上の例で集まった3人の正解確率を0.4としたらどうなるでしょう？
　この場合、多数決の正解確率は約0.35となり、残念ながら単独の正解確率より低くなってしまいます。これは多数決という方式の罠ですね。集団で何かを決めるときに、半々以上の確信を持つ人が誰もいなかったら、単純な多数決は避けたほうが良いでしょう。上に紹介した論文でも、多数決がうまくいくかどうかの分水嶺が正解確率0.5にあることがグラフで示されています。

さて、ここまでは集まった人々の正解確率が全員同じ場合の話でした。でも正解確率にバラツキがあるとどうでしょう？　極端な話、正解確率1の「神」が一人いて残りの「人」が正解確率1未満だと、多数決は正解確率を減らすだけです。
　では、優秀な人が一人いればそれで充分なのでしょうか？
　具体的な例で確かめてみましょう。賢者（正解確率0.6）1人と小賢者（正解確率0.55）2人が多数決を取ったとします。すると多数決の結論が正解となる確率は0.5995。残念ながら賢者1人より悪い確率になってしまいました。
　やっぱり、優秀な人が一人いればそれで充分？　いえいえ、そうではないのです。
　今度は小賢者の正解確率を先ほどよりほんの少し高い0.551に設定しましょう。すると多数決の結論が正解となる確率は約0.6005。賢者1人の確率を上回りました！　どのような場合に多数決が有効か一般化するのは私の力量を越えますが、上記ような賢者1人と小賢者2人の例ならば、多数決が有効な条件を二次不等式で表せるので、それほど難しくありません。もしかしたら中学校の数学の演習問題に使えるかもしれませんね。

ちなみに上の議論には重要な前提があります。成員が各々独立に答えを出すということです。集まった人達が日和見主義者ばかりで誰かの意見に右へ倣えだと、多数決だろうが何だろうが一個人の結論と変わりなくなってしまいます。他人の意見に流されず自分の意思をきちんと持つことは、その個人だけでなく、集団にとっても重要というわけです。詰将棋の世界で「多数決」が登場するのは賞を決める時ぐらいですが、投票や選考を行う人も自分の選んだ作と他の人が選んだ作が異なっても気にしないことが大切、と言えるかもしれません。

さて、今回は本サイトでは初登場となるMessignyルールの作品です。いつもなら新しいルールの場合はその説明にスペースを割くのですが、このルールはWFP22号でも登場したばかりですので、今回は説明は省略させて戴きます。詰上り位置を暗示する配置もあるので、それほど難解ではないと思います。

（担当：神無七郎）

詰将棋メモ　2010/5/6出題

推　理　将　棋　第　33　回　出　題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第３３回出題です。はじめての方は
どんな将棋だったの？　- 推理将棋入門
（http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html）をごらんください。

解答、感想はメールで２０１０年５月２０日までに TETSU まで（ omochabako@nifty.com ）メールの題名は「推理将棋第３３回解答」でお願いします。

推理将棋第３３回出題　　担当　タラパパ

自作はすでにコンピュータで全手順が解明されている８手問題。条件はオリジナルでも、手順は推理将棋初期に既に発見されているもの。
「いちご白書」は、私と同じ団塊の世代の頃の映画のタイトルですが、ユーミン作詞作曲で、ばんばひろふみが歌う「いちご白書をもう一度」のほうがずっと有名ですね。題名はもちろん「１５白書」って洒落。
「飛車冠」は、なんといっても設定条件が抜群に秀逸！
例によって、中級と上級の難度は逆かもしれません。

３３－１　初級　タラパパ作
束縛の飛車　　８手

３手目で飛車を束縛できる場所は３ヶ所。正しい場所はどこ？

３３－２　中級　けいたんさん作
いちご白書　　11手

後手が指した、意外な角打ちの場所が閃くでしょうか？

３３－３　上級　DD++さん作
飛車冠　　12手

初手と２手目は絶対。手順の多くが同じ「ある筋」の手です。

３３－１　初級　タラパパ作
束縛の飛車　　８手

弟子「師匠、どうして８手で詰まされちゃったんでしょう？」
弟子「駒成のない淡白な将棋は得意なのに」
師匠「どうしてもこうしても、３手指し終わった局面見てみなさい」
師匠「君の飛車、どこにも動けないじゃないか。これで勝てるわけがなかろうよ」
（条件）
・　８手で詰んだ
・　３手指し終えたら先手の飛車は動けなくなった
・　駒を成る手はなかった

３３－２　中級　けいたんさん作
いちご白書　　11手

「さっきの将棋11手で詰んだんだって。１筋と５筋に角打ちがあったよね」
「ああ、成る手はなかったよ。それから先手は奇数筋の着手しか指さなかったな」
（条件）
・　11手で詰んだ
・　１筋と５筋に角打ちあり
・　成る手なし
・　先手は奇数筋の着手しか指さない

さて、どんな将棋でしょう？　推理してくださいね。

３３－３　上級　DD++さん作
飛車冠　　12手

「昨日将棋で12手で勝ったんだ」
「圧勝だね。勝因は？」
「最初も最後も玉頭の飛の手を指したことかな。」
「へぇ、じゃあ相手の敗因は？」
「最初も最後も玉頭の飛の手を指したことかな。」
「え？」
（条件）
・　12手で詰んだ
・　２人とも、最初も最後も玉頭の飛の手

※　飛の手とは、「棋譜に飛の文字が入る手」を意味します。「○○飛」「○○飛不成」「○○飛成」「○○飛右」など。「○○龍」はＮＧ。　玉頭とは自玉・相手玉を問わず、玉のすぐ上のマス（59玉なら58地点）のこと。

フェアリー版詰将棋課題コンクール

～１手詰？コンクール～ 出題

担当：神無七郎

WFP21 号で募集しました「１手詰？コンクール」。おかげさまで４人の方から応募をいただきました。

課題の内容は「無駄合を考慮に入れると１手詰だが、すべて有効合とすると手数がなるべく長くなる作品を作れ」というもので、

【課題Ａ】間接両王手・間接開き王手の無駄合
【課題Ｂ】原形復帰型無駄合

の２つの分野に分かれています。今回の出題作品数は課題Ａ３作、課題Ｂ１作です。

解答される際は各作品について、

1)無駄合を考慮した場合の手順
2)すべて有効合としたときの手順

の両方をお答えください。2)については駒余りなどに関係なく攻方最短・受方最長の手順を解答してください。作品の並びは手数順ではなく投稿順ですので、変別解には要注意です。課題Ａにも課題Ｂの要素が入っていたり、長手数以外の狙いがあったりしますので、短評・長評・考察等も大いに歓迎します。

解答締切：2010年６月15日（火）
送り先：神無七郎（janacek789@ybb.ne.jp）

※　評点等は不要。短評歓迎です。
※　本課題の詳細については WFP21 号の当該記事をご覧ください

【課題Ａ】

第１番　渡辺秀行氏作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							桂		四
					歩	飛	歩	飛	五
							歩	角	六
								王	七
						玉		と	八
							と		九

持駒　なし

第２番　たくぼん氏作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							銀		一
								香	二
						歩	香	桂	三
								王	四
飛							歩		五
									六
							桂	桂	七
									八
			角					香	九

持駒　なし

第３番　ＮＡＯ氏作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							銀	桂	五
						王	桂	角	六
						飛	角	王	七
							飛		八
							香		九

持駒　香

【課題Ｂ】

第１番　志賀友哉氏作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						飛			三
									四
								角	五
				歩	銀		桂	香	六
					王				七
				桂		飛			八
			と		と		角	玉	九

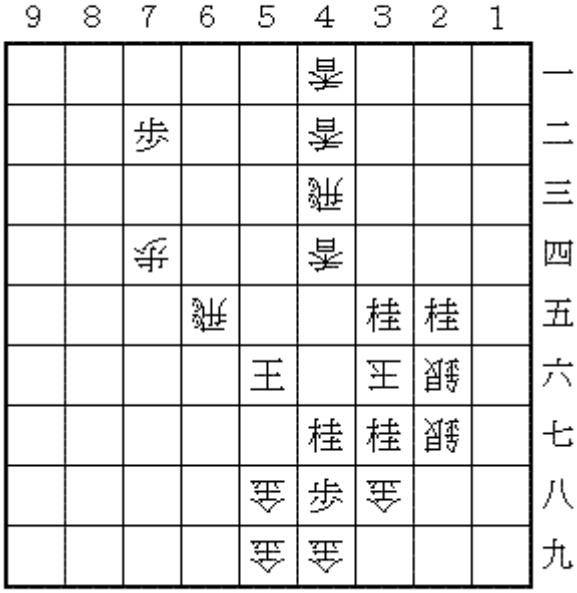
持駒　なし

原稿未着につき到着後追加をアップします。

Onsite Fairy Mate 第 158 回出題解答

開催日　　：2010 年　4 月 19 日（月）
解答発表　：2010 年　5 月　8 日（日）

神無七郎 作
PWC協力詰 107手



持駒 角

【ルール説明】

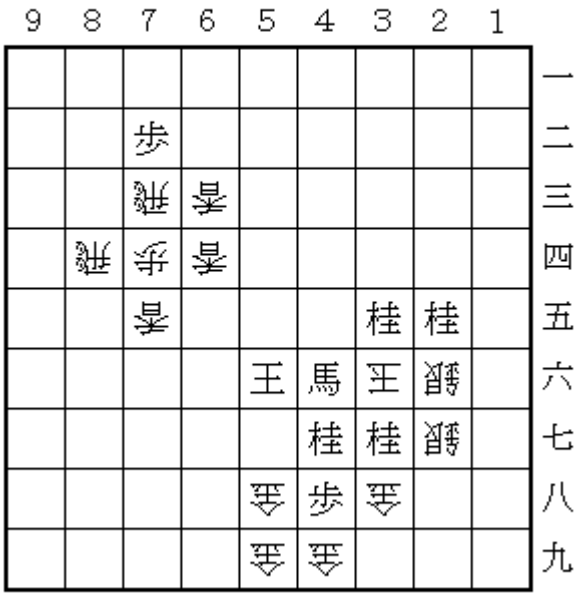
協力詰（＝ばか詰）
　先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

ＰＷＣ
　取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。ただし二歩や行き所のない駒は復元せず、取った方の持駒となる。

【手順】

63 角　45 飛　同角成 /63 飛　37 玉 /36 桂　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　48 玉 /37 歩　75 馬　66 飛　同馬 /75 飛　37 玉 /48 歩　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　37 玉 /36 桂　73 馬　55 飛　同馬 /73 飛　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　45 香　同馬 /63 香　37 玉 /36 桂　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　48 玉 /37 歩　75 馬　66 香　同馬 /75 香　37 玉 /48 歩　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　45 香　同馬 /63 香　37 玉 /36 桂　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　37 玉 /36 桂　73 馬　55 飛　同馬 /73 飛　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　37 玉 /36 桂　73 馬 /63 飛　48 玉 /37 歩　84 馬　66 飛　同馬 /84 飛　37 玉 /48 歩　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　同飛 /43 馬　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　48 玉 /37 歩　75 馬　66 飛　同馬 /75 飛　37 玉 /48 歩　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　37 玉 /36 桂　73 馬　55 飛　同馬 /73 飛　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　45 香　同馬 /63 香　37 玉 /36 桂　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　48 玉 /37 歩　75 馬　66 香　同馬 /75 香　37 玉 /48 歩　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬　45 香　同馬 /63 香　37 玉 /36 桂　55 馬　36 玉 /37 桂　54 馬　37 玉 /36 桂　64 馬　36 玉 /37 桂　63 馬 /64 香　45 香　同馬 /63 香　37 玉 /36 桂　55 馬　36 玉 /37 桂　46 馬　まで　107 手

神無七郎 作
PWC協力詰 107手（詰上り）



持駒 なし

【解説】

まずは初形を見てください。４筋に香が並んでいます（途中に飛が混じっていますけど…）。この利きが消えれば簡単に詰ますことができるので、並んだ香を順次はがしていきたいのです

が、残念ながらルールはＰＷＣ。そう簡単に駒は消えてくれないので、ばがす代わりに邪魔にならない所にどいてもらいます。

キルケ系のルールでは「消去」の代わりに「待避」を用いることがあり、筆者もしばしばこのネタを使っています。ルールは少し違いますが、第５回アンチキルケばか詰作品展に発表した作品などは最も分かり易い例のひとつでしょう。

（参考図：第５回アンチキルケばか詰作品展より）

神無七郎／2006年2月1日
アンチキルケばか詰 57手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
角	馬	銀	銀	銀	銀	龍	王	飛	二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2歩9

ただ、今まで自分が発表した作にはちょっと物足りない点がありました。「待避先」が割と直線的で、どこにどうやって片付けるかということが自明なことが多いように感じていたのです。本作も当初は馬鋸の進行方向がそのまま待避先になっていたので、物足りなさを感じていました。そこで工夫したのが馬鋸の筋に別の軌道を付け加えることでした。馬鋸の筋を二重にすればおそらくもっと複雑な機構ができると思いますが、本作のように片道で帰ってくることしかできない軌道を付け加えるだけでも、予想以上に複雑な待避機構ができあがりました。

馬鋸の馬が一旦軌道を外れて別の役割を果たし、また軌道に戻ってくる仕組みは普通詰将棋でも大きな成果を挙げていますし、これからも研究と発展が期待されます。この作品自体は最初の飛の待避の仕方さえ分かれば、あとはその一部を使って残りの全部を待避できるので割と易しかったと思いますが、いろいろなルールと組み合わせられるフェアリーでは、多重軌道を使った高度な機構がまったく手付かずで残っているように思います。

【正解者及びコメント】（正解５名：到着順）

市村道生さん
３ヶ月連続した難解作から、今月は軽趣向作。何か、長期の旅行から、久し振りに懐かしの我が家に帰って落ち着いたような気分です。
後続の邪魔にならないよう、順次、奥の場所から整理して行く趣向ですが、その方法が実に巧妙で、最初の飛車などは、何と９回の移動でやっと目的地に移す事となります。
ＰＷＣのルールを最高に駆使した手順で、楽しく推理しながら解けるパズルの傑作です。

☆　このところの難解作連発には、さすがの市村さんも辟易されていましたか。
本サイトでの基本的な出題方針は「良さそうなものから先に出す」なので、時には難解作が続くこともあるのですが、特にここ２回は例外的な難しさだったと思います。多分、本作くらいの難度が本サイトの「難問」の標準的なレベルではないかと思います。

若林さん
玉の可動範囲が３ヶ所で、持ち駒角。
４筋の掃除という目的がはっきりしていて手がつけやすかったです。
はがし趣向ならぬずらし趣向と言ったところでしょうか。
気持ちよく変速馬鋸が楽しめました。７筋の一見ゆるやかな枠が見事です。
＊
解図中は合駒は一切読みませんでしたが、金があると４筋に角を運んで封鎖できるのですね（fm で確認）。これが銀（縦横方向への移動が直進のみ）ではできないのが綺麗ですね。
156 回の PWC は解くため=45 桂を消去するためキーが全く見えず、投了。

前回の作品は４筋突破が鍵なのは分かっても、そのための配置自体見つけられませんでした。どうも（特に） PWC において、ある目的を達成するために必要な配置がある程度複雑になると見つけられなくなるようです。

☆　若林さんは下段の金配置に言及されていますが、正に仰る通り。「と金」ではなく「金」になっているのは余詰対策です。こういう所に気付いて貰えるのは嬉しいすね。
ただ、時には気付いて貰うと困る場合もあります。それはもっとスマートな解決方法があるのに、下手な方法で余詰防ぎなどをしてしまった時です。本作も「本当はもっと良い対策があるのでは…」という疑念が拭えないので多少不安は残っています。

渡辺さん
今度は倉庫番ですね。荷物（飛香）を奥から順に詰めて行きます。
（手前)63 → 66 → 75 → 73 → 84(奥）の順。
ただし 75 を詰めた後は 66 は無理なので代りに 64 に詰めます。
気付いてみれば簡単なのですが、歩が稼げるループが何通りもあってこれが作意と無関係であることに気付くまで、どうやって歩を打つ場所を作るのか思案してはまっていました。
No.156 を解いていなければ歩を取る手に惑わされずに済んだのですが…。

☆　「倉庫番」はこの種の趣向にはピッタリの言葉ですね。駒を運搬するのが主題の詰将棋はこれからは倉庫番趣向と呼ぶことにしましょう。
あるいは新しいルールとして「倉庫番」を使うことができるかもしれません。移動先にある駒を１個だけ進行方向に動かせるルールとか…
誰かやりません？

たくぼんさん
４筋の邪魔な駒を移動させることはすぐに分かるが、しばらくは 48 歩が取れることに気付かず一悩み。
取れる事に気付くと面白いようにストーリーが見えてきた。
倉庫に邪魔な物を片付けるそんな作品ですね。面白かったです。

☆　たくぼんさんも「倉庫番」を連想されたみたいですね。やはりこの種の作の呼称は倉庫番趣向で決まりでしょうか。鳥が枝を運んで巣を作るのにも似ているので、営巣趣向と呼ぶのも良いかもしれません。
48 歩の配置は一種の「可動式の壁」。 48 玉の形のときは 37 に馬が入るのを防ぎ、 37 玉の形のときは 48 に馬が入るのを防いでいます。 37 桂もそうですが、こうして「動く邪魔駒」を置くのはＰＷＣ作図の上で重要なテクニックです。

瘋癲老人さん
１枚目の飛車を 84 にもっていくまでが大変。最初は 73 で一息ついたので最後の香が５筋に来て失敗しました。
荷物運びパズルみたいで面白いと思います。

☆　73 に飛車を運んで一服。残りの飛香を運ぼうとして場所が足りないことに気付き、最初に戻ってもう一回。今回、正解された方々もこのパターンは多かったのではないでしょうか。本家「倉庫番」と異なり格納場所を明示する必要がないのは、詰将棋の良いところですね。

☆　花粉の季節もそろそろ終わりと喜んでいたら、５月になって急に暑くなり、少し体調を崩していました。まだ WFP 作品展も（難物っぽい）２問を残しているので、ちょっとピンチです。これから気合を入れて頑張ります。
　次回の出題は「氾濫 32 」に合わせて「自分の利きがない場所に駒が動くことがある」ルールの作にしようと思っているのですが、具体的に何を出題するかは未定です。
　また、「１手詰？コンクール」もそろそろ募集締め切りです。投稿宜しくお願いします。

（ 2010.5.9　七郎）

詰 将 棋 メ モ

推理将棋第 32 回出題解答

担当　タラパパ

出題日　　：2010年４月４日
解答締切　：2010年４月20日

３２－１　中級　ミニベロさん作　三捨利警部の推理　主犯は誰だ　　11 手

「警部、今度の 11 手詰事件は、小駒の成駒による連続王手です」
「２手目は分かるかね」
「はい、４筋の手であることは判明しています」
「なるほど、主犯は分かった。もしかしたら新しい手口かもしれないよ」

（条件）

・　11 手で詰んだ
・　小駒の成駒による連続王手があった
・　２手目は４筋の手

※すでに成っている小駒による連続王手です。

出題のことば（担当　タラパパ）
　相手の駒を取って打つ余裕はありません。
追加ヒント：
　先手が成った小駒は、自陣から出て行った桂か歩。

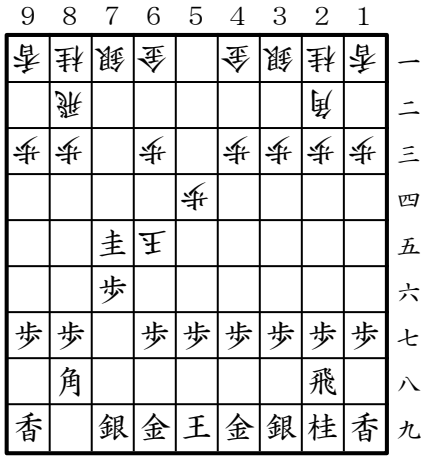
推理将棋第３２回解説　　担当　タラパパ

今月の３局はいずれも、推理将棋の古典になるかもしれません。
ミニベロさん作は、なんと言っても手順・詰上がりの美しさ。
DD++ さんの２局は、同じ会話で「手数が違う２局」を成り立たせた、歴史的なツイン作品として（mixi出題の原案）残ることでしょう。

推理将棋３２－１　解答

▲７六歩、▽４二玉、▲７七桂、▽５四歩、▲８五桂、▽５三玉、▲７三桂成、▽６四玉、▲７四成桂、▽６五玉、▲７五成桂　まで１１手

詰上り図



77 から出て行った桂馬が、成桂となって、初手に突いた 76 歩頭に鎮座するまでの小旅行。先手の角桂歩が好連携し、後手の 54 歩まで幸便に退路を塞ぐ詰上がり図の美しさは言葉になりません。

桂をテーマとした名局には、当コーナー 2008 年出題「 17-3 駒の活用　11 手（魚熊さん作）」がありますが、この作品と共に、恐らく推理将棋の古典の一つとして歴史に残るのではないでしょうか。

先手は７手目に小駒を成って、王手で２度動かさねばなりません。成駒が取って打った小駒なら、３手目に取らねばならず不可能（５手目に歩は打てない）。自陣から出て行って７手目に成れる小駒は、桂か歩しかないことが分かります。

最終空き王手が考えにくいとすれば、詰上がり、何らかの駒で小駒成駒にヒモがついていま

す。その駒は普通に考えると飛香のどれか。

成駒は歩が有力と思いがちですが、 13 、 23 、 93 に成ったと金が連続王手で詰ませる順はありません。なぜなら、例えば「 22 と」は「 21 と」の利きを完全に包含してしまうので、と金は縦・縦とは動けません。また 42 玉に対して、 33 と～ 22 とのような動きも、玉が 32 に戻る手を防げないからです。

２手目「４筋の手」は右で詰みそうに思わせ、飛頭の歩に注目させる効果があるかもしれませんが、いかに早く、こうした歩の呪縛から逃げられるかが解図上の勝負でした。

DD++　「なかなか解けないので７手目に小駒の成駒を作る先手手順 27 通りを虱潰ししました。しかし、 53 以外の桂成は経路が特定できないだろうと思って後回しにした結果、解答までに大きく迂回。完全にやられました。４筋と聞いて意識を右側に振られることもあり、小駒の成駒を１回動かす９手詰（ 26 歩、 42 玉、 25 歩、 32 玉、 24 歩、 42 銀、 23 歩成、 31 玉、 22 と）をベースにどうにかしたくなるのが大きな罠ですね。」

■答案を拝見すると、この問題が一番難しかった模様。素直に上級とし、ツインを初中級に据えるのが正解でした（汗）

リーグ戦ファン　「私の大好きな婦警（歩桂）詰め。 44 成桂まで、なんて脳内で考えてしばらく転がしてましたが、ミニベロさんだったら初手の歩も活かそうとするはず、とひらめいたら、すぐに答がありました。ちょうど▽ 53 玉とタイミングが合って、桂の跳ね先が限定されるところに強運を感じます。」

■どうせ駐車違反とられるなら、美人婦警さんのほうがいいですよねぇ・・・って、何の話？

はらたっと　「小駒の成駒は桂か歩しか考えられず（取って打つヒマはない）第一感は「桂」か。成駒にヒモをつけることを考えると角筋では「 33 」「 44 」「 55 」のどの地点にもムリなので、角筋で玉の退路を塞いでの詰め上がり地点は「 65 」だな。とヒラメキました。」

■飛車筋をぜんぜん考えないとはズルい（笑）

斧間徳子　「本作、なかなか解けずに随分悩みました。 85 桂とソッポに跳ねる味が抜群。傑作。」

■ソッポの桂がうまいこと限定してしまうんですよね。

はなさかしろう　「２筋のと金がうまくいかないので 89 の桂を跳ねて行くのですが、角との連携が 33 、 44 、 55 とうまくいかず、そういえば 75 もあるか、と。 53 玉のタイミングの関係で桂のルートが決まるのが良い味でした。」

■ 65 桂では 53 から玉が出て来られない。 85 桂が自動的に決まるのが味。

渡辺　「”２手目は４筋”がミニベロさんらしい巧い条件。私だと”玉頭の歩を突いた”として詰み形を明かしてしまいそうです。おかげで 10 手で 35 金までで詰める筋を知らない人にとってはかなり気付きにくいと思います。歩成が駄目だといつ見切りをつけるかがポイント。」

■４筋条件は解答者の眼を右に向ける役割もあり、流石の巧みさでした。

平井康雄　「今のところお手上げです。７手で歩か桂を成り込ませることは可能ですが、それを後２回王手で動かして詰め上げるんですよね？支えの駒は当然角か飛なんでしょうね？どうやっても詰み上がり形すら見当つきません。」

■平井さんは、言わずと知れた詰パラ大学担当者。これは第一便の声。推理将棋はほぼ初挑戦だそうです。ありがたいですねぇ。

平井康雄　「７手目で成れる小駒は歩か桂しかないのは容易にわかるのですが、詰上がり形の想定がなかなかできませんでした。また、桂が成る位置は 53 でなければ桂の軌跡が限定できないはずだ、と一旦思い込んでしまうとそこから抜け出すのが困難になります。 85 桂が想定外の１手でした。」

■第二便できっちり軌道修正。”桂の軌跡が限定できないはず”この思い込みは、他の解答者の皆さんにも共通の罠になった模様です。

たくぼん　「『初級の初めに出題されているので、 26 ～ 23 歩成と誰しも思うよね～。しかも 2 手目 42 玉だし、どう考えても上級でしょこりゃ。』と書いたがよく見たら 1 番だけど中級だった（笑）でも難しかったよ」

■上級でよかったようです(^^;

○術師　「成小駒を 2 手引くのは予想がついたのですが、その場所がすぐには分からず…長期間放置してから再度解いたらすぐでした。 85 限定がスパイスですね。」

■推理将棋でも冷却期間をとるのは有効。

S.Kimura　「最後まで分からなかったのがこの問題です。最後に成桂を角の効きに置くとばかり思っていたのが失敗でした。桂馬が 85 と 65 に行けるので、 73 桂成を読みづらくしていたのもうまいですね。」

■ 76 歩の利きに持っていく手順に気付いた作者の勝ちですね。

superkuppabros　「飛車先の歩だと思ったのですが・・・全然分かりません。」

■きっちり紛れにハマりましたね（笑）

諏訪冬葉　「今回一番苦労しました。 9 、 11 手目に成駒で連続王手だから最終手にはひもがついていけないといけない→飛車か香車の先と勝手に思い込んでいたら 76 歩があった。」

■予想以上に飛車先の紛れが強かったようでした。

はてるま　「 85 桂が限定されているのがうますぎます。 11 手で難しすぎずエレガント、こういうのは貴重ですね。」

■はい、 85 桂限定はとても”美味しい”と思います。

正解：１３名

S.Kimura さん　斧間徳子さん　諏訪冬葉さん
たくぼんさん　DD++ さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　はらたっとさん
平井康雄さん　○術師さん　ミニベロさん
リーグ戦ファンさん　渡辺さん

３２－２　初級　DD++ さん作
両隣の将棋（１）　　９手

「隣の将棋、あっという間に詰んだね」
「先手が指したのは 1 枚の歩を 4 回動かしたのと、飛の手 1 回だけか」
「その飛の手直後の 7 筋の手はびっくりしたよ」
「４手目の５筋の手も興味深い手だ」
「この短手数なのに成る手が 2 回もあったんだね」
「９手で勝った先手は気分よかっただろうね」
「え、後手が 10 手で勝ってなかった？」
「あれ、もしかしてそっち側の隣の話してたのか」

どうやら、両隣の全く別手順の将棋を見ながらも会話が成立していたようです。
両隣の将棋はどういう将棋とどういう将棋だったのでしょうか。

（条件）

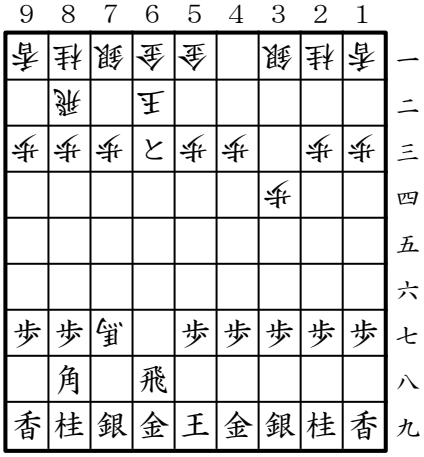
- ９手で詰み
- 先手の着手は同じ歩の手 4 回と、飛の手 1 回のみ
- 先手の飛の手直後に後手は 7 筋の手を指した
- ４手目は 5 筋の手
- 成る手が 2 回あった

出題のことば（担当　タラパパ）
　止めは成る手のようです。
追加ヒント：
　成った駒は歩と角。

推理将棋３２－２　解答　　担当　タラパパ

▲６六歩、▽６二玉、▲６五歩、▽５一金左、▲６四歩、▽３四歩、▲６八飛　、▽７七角成、▲６三歩成　まで９手。

詰上り図



持駒 歩

32-2と32-3のオリジナル案は次の内容。まったく同じ条件で手数の異なる２手順と、オリジナリティ溢れる初の試みでした。

「隣の将棋、あっという間に詰んだね」
「先手が指したのは１枚の歩を４回ついたのと、飛の手１回だけか」
「その飛の手直後の７筋の手はびっくりしたよ」
「４手目の５筋の手も興味深い手だ」
「この短手数なのに成る手が２回もあったんだね」
「ところで、どこ見てるんだい」
「打ち終わった隣の将棋だよ」
「俺はこっち側の隣の将棋の話してたんだけど」

どうやら、全く別手順の将棋を見ながらも会話が成立していたようです。
両隣の将棋はどういう将棋とどういう将棋だったのでしょうか。

mixiの原案は問題文に先手の指した手数は書かれていますが、何手で詰んだかの記述はありません。

ここがミソです。飛車が１回動いて、同じ歩を４回突く条件で、先手が詰むとは思えず、32-2の９手が比較的容易に見つかるため、解答者はもう一局も９手と思い込んでしまう。
蓋を開ければ実は９手と 10 手だったという意外性。う～ん、巧妙ですねぇ。

今回の出題では解き易く、手数が明かされています。

１枚の歩を４回突いて、飛車を１回動かす条件では、先手が駒を成るとして歩成１度が限度。では後手は４手で何枚成れるでしょう？　先手の指す５手は、後手の駒成を一切アシストしていません。つまり後手が成るチャンスも一度だけ。

先手の駒成は歩が必然で、三段目の歩成で詰ませる。それには、二段目の後手玉が一段目に逃げられないことが必要。後手の手が「玉が上がる」「一段目を埋める」「残りの２手で駒が成る」ことになると、 34 歩～ 77 角成が絶対。 77 角成は王手ですから、先手は 68 飛と振る筈。以上のことを総合してやれば、作意は論理的に見つかると思います。

DD++　「採用ありがとうございます。２手順両方で全条件が必要条件となるようにした結果、ややわかりにくい条件となってしまいました。９手の方は無駄手が存在する上に24-1のまささん作によく似た手順と、こちらだけ見ると反省点もある出題だったかもしれませんね。精進します。」

■ 77 角成は、単に詰める目的だけなら無駄手ですが、これがあってはじめて６筋に限定できる。単独作品として類似手順が存在することもネックではありませんから、私の見る限り、反省点らしきものは何も見当たりませんが(^^)

リーグ戦ファン　「この問題は秒殺。無駄手処理のはずの「成２回」によって飛車の位置を６筋に決められたところが格好いいです。」

■ですよね。

はらたっと　「本手順はあまり難しくなく、32-3とセットだからこその問題といった印象をうけました。」

■本問単独の手順は”よくある手順”ですから、おっしゃる通りだと思います。しかしセットすることで新構想。

斧間徳子　「○三歩成以外の成駒は 77 角成で

はないかと考えたら、すぐ解けました。」

■決め打ちがハマると、簡単に解けることがあります。よかった(^^)

はなさかしろう　「攻守ところを変えて見るというのは斬新。確かに32-3と似ています。原案の手数を隠した出題形式というのがどういうものだったのか見てみたいです」

■はじめから原案も公開するつもりでした。

渡辺　「これは頻出の形。ほぼ一目でした。詰み形が明かなので易しいと思います。」

■いわゆる”使える手順”ですから。

平井康雄　「問題文から飛先の歩が成って詰みというのは明らかで、後はどの筋の歩をつくかの問題となる。もう１枚の成駒は玉方角以外ありえないので、それを 77 角成とするなら、 68 飛も必然となる。ということで、ここまで分かり易いのは初心者向けでいいですね。」

■はい、初級にはこうして論理で簡単に解ける問題が理想です。

たくぼん　「７筋の手が 77 角成というのは予想外でした。」

■裏読み専門のたくぼんさんらしい感想。 77 角成はもっとも自然なのに。

竹野龍騎　「すぐに解けてほっとした。問題は次ですね。」

■単独問題としての真打は次の問題。ですが、組局としては２題とも真打。

○術師　「手順は飛車振ってその筋に歩成までしかないのですが、細かい条件が見事に働いて飛車を振る位置が決まるのに感心しました。」

■例えば”５筋の手”を省くと 51 金左で、 72 玉と寄る手があるなど、不要な条件がないところに感心します。

S.Kimura　「これぐらい易しい問題が毎回あると助かりますね。」

■そう心がけたいのですが、なかなかです。

superkuppabros　「６筋であることに気づけば後は楽にできました。」

■飛車を振って、飛車先の歩が伸びるのが明らかなので、”どの筋か”が問題ですものね。

諏訪冬葉　「歩が４歩進んで詰みなら例の手しかない。あとは成りの回数と歩を進める列を調節。」

■飛車と歩の順番が限定されることにも、ぜひご注目を。

ミニベロ　「Norman さんの名作順ですね。」

■あの 10 手は難しかった。

はてるま　「最初は 62 玉型で先手 58 飛と回って後手が 72 飛と寄るのかと思いましたが、成の数が足りませんでした。後手に成りが１回入るとすれば 77 角成、とすれば 68 飛と回る形が見えてきます。かなりクリアカットに割り切れるので初心者にも良問かと。」

■ははぁん、最初は７筋の手も無駄手と考えられた訳ですね。

正解：１５名

S.Kimura さん　斧間徳子さん
superkuppabros さん　諏訪冬葉さん
たくぼんさん　竹野龍騎さん　DD++ さん
はてるまさん　はなさかしろうさん
はらたっとさん　平井康雄さん　○術師さん
ミニベロさん　リーグ戦ファンさん　渡辺さん

３２‐３　上級　DD++ さん作
両隣の将棋（２）　　10 手

初級と同じ会話

（条件）

- 10 手で詰み
- 先手の着手は同じ歩の手４回と、飛の手１回のみ
- 先手の飛の手直後に後手は７筋の手を指し

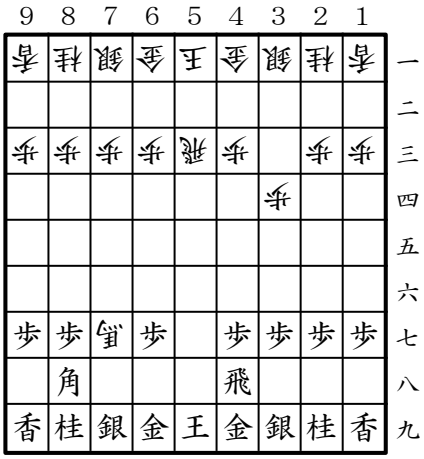
た
・　４手目は５筋の手
・　成る手が２回あった

出題のことば（担当　タラパパ）
居玉を詰ませる代表３手段は、金に働くか、桂で吊るすか、両王手。
追加ヒント：
先手の成った駒が取られました。

推理将棋３２－３　解答　　担当　タラパパ

▲５六歩、▽３四歩、▲５五歩、▽５二飛、▲５四歩、▽５五角、▲５三歩成、▽同飛、▲４八飛　、▽７七角成　まで１０手。

詰上り図



持駒 歩

32-2の９手順が論理的に一意に導けるなら、手数が示されていなくても、こちらは 10 手でしか実現できないことは明白なのです。ところが現実はそうではありません。機械ならぬ人間の思考は、疑心暗鬼に捉われ、自分を疑い、揺れるものです。

さて手数が 10 手で、先手玉は居玉です。ヒントにも書きましたが、ごく特殊な詰上がりを除いて、居玉を詰ませるには「金に働く」「桂で吊るす」「両王手で詰ませる」しかありません。先手は金を動かしませんから「金に働く」は金を取ること。

「４手目は５筋の手」が実に困った条件で、後手が 34 歩と角道を開けるとしても、４手目に先手陣に入ることができません。「金に働く」「桂で吊るす」手段は消えて、残る手段は両王手しかありません。居玉を両王手で詰ませ、４手目が５筋なら、手段はひとつだけ。 52 飛と回り、 55 角が 37 角成又は 77 角成として詰ませる形。

先手の歩は三段目までしか伸ばせませんから、 52 飛で歩を払います。というわけで、本問も作意手順が論理的に導き出せます。

しかし、この両王手が 10 手でできるんですねぇ。

作者　「原案(mixi743番) では、先手の手が計５回だけという条件があるのをいいことに手数を隠し、完全に同一の条件で先手勝ち手順と後手勝ち手順が１つずつできる、という趣向作品でした。ただ、手数を隠すとこちらの順を見つけるのはかなり難しいと思われたので、おもちゃ箱では手数を明かしてみましたが、いかがでしたでしょうか。」

■おもちゃ箱向けにありがたい反面、原案で出してみたかった気持ちもありました。でもかなり難しくなるでしょうね

リーグ戦ファン　「金付き居玉を詰ませるとなればこの筋でしょう。二問とも、山ほどある非限定（手順前後、成不成、左右同形、無駄手処理）を、わかりやすい同じ３条件でクリアしたのはさすがですね。馬鹿話ですが、32-3、「後手の手が歩・飛だけの９手詰」と、問題を脳内で変換してしまっていたので、全然違う解を送るところでした。　（▲ 43 桂ないし▲ 63 桂までの吊るし桂）」

■ 52 飛に桂吊るしですか。同じ脳内変換、意外にやってしまうんですよ。全条件を覚える代わりに急所だけ覚えようとした時。

はらたっと　「同条件で９手と 10 手というのに感心しました・・・。詰め上がり図は私も考えたことがあったので偶然ヒラメキましたが、条件付けが32-2とあわせて見事です。」

■同条件異手数は、詰将棋でいえば新手筋開発に匹敵する価値かと。

斧間徳子　「これも簡単でしたが、作者の原案どおり、手数を明かされなかったら、相当難し

そうですね。」

■飛車の手１回と、同じ歩を４回突いた先手が、 10 手で詰むなんて、第一感が拒否しそうですから難しいでしょう。

はなさかしろう　「この両王手は攻方６手、玉方３手と思い込んでいました。 55 角の空移動で 10 手の手順にできるのが意外で面白かったです。」

■同様にそう思い込んでいました。ですから、多くのベテラン勢には当たり前の詰上がりでも、私にとって意外な手順でした。

渡辺　「作者がmixi内で別の両王手作品（高坂氏の有名作品と同類の詰上がり）を出題した際に、「 10 手の両王手はあと３パターンあるよ」という話をしたのですが、それがこういう形になって出題されるとは思いもよりませんでした。欲を言うなら「２度の成」の駒を９手詰めとは異なる駒でやりたかったですね。」

■そんな裏話がありましたか。残る 10 手３パターンを探してみるのも一興かと。後半、同感ですが欲張り（笑）

平井康雄　「最後が 77 角成までの両王手と決めてしまえば後はほぼ必然的に決まりますね。上級というよりは初級向けじゃないですか？これはやっぱり２題セットで評価しないといけないですね。全く同じ４条件で、別の９手と 10 手が成立するというマジック。推理将棋初心者には感動物でした。」

■しょ、初級ですか！　推理将棋は長い私ですが、同じように感動マジックでした。

たくぼん　「他の条件一緒で手数だけ違うというのは創るのが難しそうですね。お見事でした。」

■きっとたくさんあると思います。ただ、見つけるのは難しい。

竹野龍騎　「４回指す歩が詰みに関連するような手順を考えたら、両王手が閃いて解けました。手数違いで２題揃っているのは面白い。」

■”４回指す歩”は必然的に、途中で取ることができないことも意味するので、推理の上では強力な手助けですが。

○術師　「先手の歩４手が有効手となるためには後手の駒を働かせてあげないと・・・と考えたら、飛車を使うのが一番でした。詰み形を作るために一度影に入る気持ち悪い角が逆に感触良いです。」

■きっちり手数が足りるものと、私はそちらに感心しました。

S.Kimura　「ヒントから 52 飛が思い浮かびました。そして、冒頭に両王手と書いてあったのを思い出し、ようやく詰め上がりが分かりました。」

■実をいうとヒントは、論理的に容易に推理できることしか書いていません（^^; 我ながら不親切なヒントです。

superkuppabros　「桂吊るしは明らかに手数が足りないため除外して考えたところ、両王手の手順が思い浮かびました。」

■少し考えると、両王手以外はまったくダメなのですが、それでもなかなか決め打てないもの。すぐ浮かびましたか？

諏訪冬葉　「出題コメントから両王手と決め打ちしました。」

■コメント、実は一般論に過ぎません。勘が鋭いんですね。

ミニベロ　「なるほど。同じ条件でできるんですね。」

■不思議ですよね。

はてるま　「５筋の歩をやり過ごして、 55 角と途中下車するのがうまいですね。前問とは対照的な詰め上がりで、組問題としても相当な出来かも。」

■冒頭でも述べましたが、古典として残りそうな気がします。

正解：１５名

S.Kimura さん　斧間徳子さん
superkuppabros さん　諏訪冬葉さん

たくぼんさん　竹野龍騎さん　DD++さん
はてるまさん　はなさかしろうさん
はらたっとさん　平井康雄さん　〇術師さん
ミニベロさん　リーグ戦ファンさん　渡辺さん

総評

はらたっと　「２、３月はバタバタしており（仕事の都合で引越しするハメになりました）ゆっくり推理将棋に取り組む余裕がありませんでした。今回は意外にも、３問ともスンナリ解けました。」

■それはお疲れ様でした。個人的に引越しは幾度も経験しているので、あの面倒さはよく判ります。

はなさかしろう　「松田圭市さん・安江久男さんの詰パラ推理将棋 2009 最優秀作も解いて爽快、ダイナミックな手順でした。案外論理が効くというのも推理将棋ならではですし、条件付けの技で二度楽しい問題でした。」

■そちらも解いてくださいましたか。両名にとって『自分が創った』とは言えない創作経過の作品でしたが（汗）

〇術師　「今夜はナイター観戦のため帰宅後に送れるかどうか分からず、昼間のうちに送ります。もちろん、普段のように締め切り当日夜に解き終えるようなギリギリにならなかったのが大きいのですが。どの問題もぼーっと条件見ていたら全く解ける気がしませんでしたが、真面目に？考えたら案外あっさり解けました。
32-2、３は条件が多すぎて当初は抵抗感ありましたが、解いてみるとどれもきっちり利いてきたのでスッキリしました。両題ともに後手角が 77 に成るのが意外でした。」

■ナイター観戦とは羨ましい。思えば半世紀ほどナイター観戦していません。行きたいなぁ～。

ミニベロ　「初級・上級は、どちらも詰手順そのものは推理将棋の初期に開発された順ですが、こうやって同じ条件のツインにすると、全くの新作ですね。これも推理将棋の可能性を広げるものです。」

■自分的には 10 手上級手順は知りませんでしたが、全体として同感です。唸る発想でした。

推理将棋第３２回出題全解答者：　１５名

S.Kimura さん　斧間徳子さん
superkuppabros さん　諏訪冬葉さん
たくぼんさん　竹野龍騎さん　DD++さん
はてるまさん　はなさかしろうさん
はらたっとさん　平井康雄さん　〇術師さん
ミニベロさん　リーグ戦ファンさん　渡辺さん

当選：　はらたっとさん

おめでとうございます。

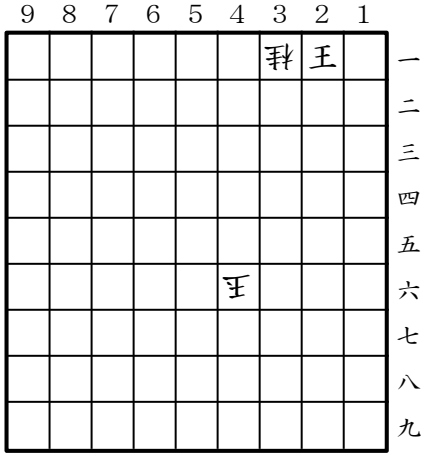
妖精賞の系譜（10）

第 14 回 妖 精 賞 （2001 年）

この期も、読者投票による選考を行い投票者が6名。集計の結果妖精賞を決定した。

【短編部門】

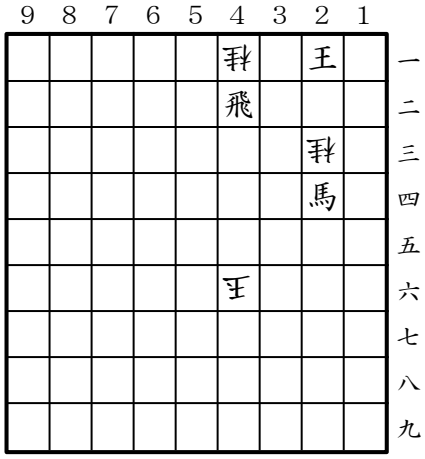
詰将棋パラダイス 2001 年 5 月号
加賀孝志　作
対面ばか自殺詰　6 手



持駒 角

13 角　24 飛　同角成　23 桂　42 飛　41 桂打　迄　6 手

詰上図



持駒 なし

柿久桂古（妖精賞投票コメント）
各駒の特色が良く出ている。

解説（筒井浩実）
二段目の飛に桂対という収束形は、最近よく作られるようになりました。4 手目の応手を限定させるために 31 桂の配置があるのですが、この配置のために 42 飛、 41 桂の収束が見えにくくなったという効果があったようです。

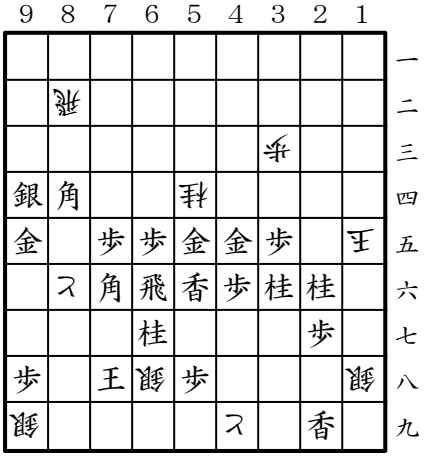
佐藤善起
24 馬、 23 桂が飛のあき王手で詰という詰上りを考えてやっと解けた。

駒井信久
31 桂をヒントにすればよかったが、逆に詰上りのカムフラージュになってしまった。

★　対駒によって飛と馬になっている桂だけの詰上りが見事。特に 31 桂配置が 2 手目限定と詰上りを見えにくくしている点で絶好の配置です。決してこれが無ければ双裸玉なのに…という配置ではないのです。私も今回答えを見ずに考えてみましたが詰上りがなかなか浮かばず時間が掛かりました。

【中編部門】

詰将棋パラダイス 2001 年 9 月号
小林看空　作
ばか詰　39 手　「虹姫」

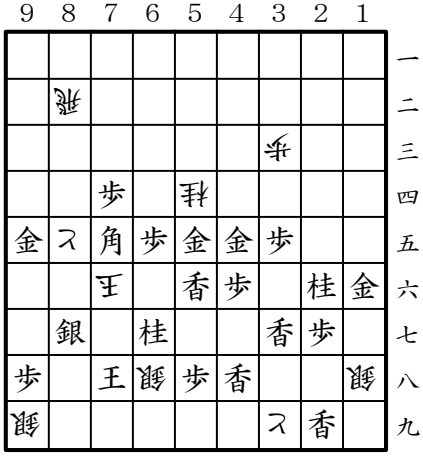


持駒 香2

17 香　16 金　同香　同玉　17 金　25 玉　16 金　36 玉　39 香　38 香　同香　37 桂　同香　47 玉　39 桂　同と　49 香　48 歩　同香　58 玉　59 歩

57 玉　58 歩　66 玉　74 歩　75 飛　同角　76 玉
85 銀　同と　96 飛　86 角　同飛　同と　94 角
85 銀　同角　同と　87 銀　まで　39 手

詰上図



持駒　なし

天津包子（妖精賞投票コメント）

七種合にビックリ。

作者

「橋姫」より 2 手短い七種合です。できるだけ成駒を少なくしました。

片岩裕貴（担当）

常に玉方の持駒は歩 +2 枚以内で、歩以外のの駒はすぐに合駒として使われてしまいます。4 手目と 14 手目に取るか逃げるか迷うくらいで、それ以外はほとんど必然手に近いと思います。

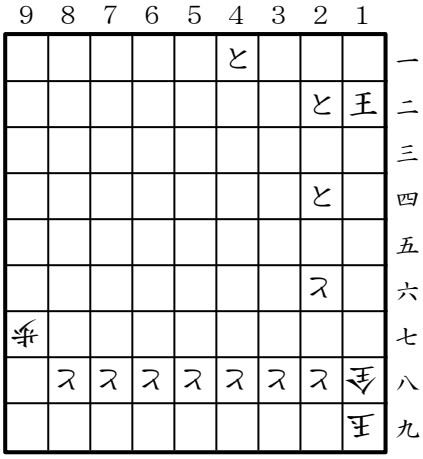
藤岡靖朝

大変分かり易い 7 種合。適度に易しい小アクセントを含んで初心者にも取り組んで欲しい中編趣向物。こういう作品に数多く当たることが長編作品攻略につながると思います。

★　解くのは簡単なんですが、七種合を短手数で表現する手腕はさすがですね。機械的ではなく人間的な感じのする手順です。それはそうと普通詰将棋では可能なダブル七種合はばか詰では出来るのでしょうか？まあここへ書いておけばどなたかが挑戦してくれると思いますが…（笑）

【長編部門】

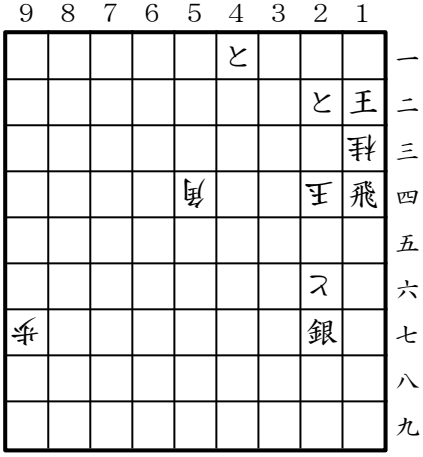
詰将棋パラダイス 2001 年 2 月号
加賀孝志　作　対面ばか自殺詰 62 手
「夕焼け小焼け」



持駒　歩2

29 歩　同玉　19 歩　39 玉　29 歩　49 玉　39 歩
59 玉　49 歩　69 玉　59 歩　79 玉　69 歩　89 玉
79 歩　98 玉　89 歩　87 玉　88 歩　同玉　79 歩
77 玉　78 歩　同玉　69 歩　67 玉　68 歩　同玉
59 歩　57 玉　58 歩　同玉　49 歩　47 玉　48 歩
同玉　39 歩　37 玉　38 歩　同玉　29 歩　27 玉
28 歩　同玉　19 歩　17 玉　18 歩　同玉　29 銀
28 飛　19 銀　27 玉　28 銀　16 玉　27 銀　15 玉
55 飛　54 角　19 飛　24 玉　14 飛　13 桂　まで
62 手

詰上図



持駒　なし

柿久桂古（妖精賞投票コメント）

収束意表の手順。

解説（筒井浩実）

盤に並べて確認して頂ければわかると思いますが、銀を取って飛対を取るまではほぼ一本道の手順です。しかしながら、その後の収束がなかなかない展開で意表を突きます。 77 角の意味づけがダブった感じになったのが残念ですが、逆に言えばもうひと働きするので気分は悪くない。初形駒種も少なく、うまくまとめていると思います。

★　正解者は５名。中盤までの趣向と収束が全く異質な２つの顔を持つ長編とでも言おうか。この頃作者は安南系や対面系の難解作を数多く発表されて解答者を苦しめました。最近は創られてないのかな？

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

5 月　20　日（ 火 ）

推理将棋　第32回出題
＊推理将棋　３題

6 月 5 日（ 土 ）

Onsite Fairy Mate　159 回出題
***Messigny 協力詰　１題**

6 月　15　日（ 月 ）

第22回WFPフェアリー作品展

6 月　15　日（ 月 ）

Fairy of the Forest#23
＊協力詰　６題

6 月　15　日（ 月 ）

１手詰？コンクール
＊普通詰将棋　４題

作品募集締切一覧

第８回詰四会フェアリー作品展

課題：桂が頑張っているフェアリー作品

投稿締切
　2010 年 08 月 22 日
（投稿先）
→たくぼん（ takuji@dokidoki.ne.jp ）

****

【お詫び】

先月号解決編掲載の「秘密文書」は内容が余詰で、成立していませんでした。３手目までは同じという条件が必要でした。お詫び致します。修正は、文書内に「散歩は同じ道」（散歩→３歩→最初の三手）書き足しと苦し紛れではありますがしておきます。

たくぼん

あとがき

紅月さんになにかトラブルがあったようで発行が遅れてしまいました。お詫びいたします。

たくぼん

2010 年　第 23 号

Web Fairy Paradise

非売品
平成二十二年五月号
平成二十二年五月廿日発行

発行所　愛媛県新居浜市
発行兼編集人　須川卓二
発行所　Web Fairy Paradise 編集部
問合先
　須川卓二　takuji@dokidoki.ne.jp